

## 平成 30 年度 介護老人福祉施設ケアホーム三浦事業計画

平成 30 年度の事業計画は、「質の向上」です。昨年 6 月に開設し、幸いなことに多くの地域の方にご利用いただきました。特別養護老人ホームは満床となり、ショート・デイサービスも 8 割以上のご利用を頂いております。デイサービスは 20 名から 23 名に定員を増やしました。居宅介護支援事業所も現在担当ケースが一杯になっています。

来年度について、特別養護老人ホームは待機者が現在 50 名ほどいますので満床でのサービス提供をおこなっていきます。ショートステイ・デイサービス事業は、緊急時をふくめ柔軟な対応をしていくことで、9 割の稼働率を目指します。居宅介護支援事業所はケアマネジャーを 1 名追加し、地域に出ていくスタッフ数を増やしていきます。また、4 月より介護保険の報酬改定があり、各事業ともより専門的なサービスの向上を求められています。専門職の育成・採用、サービスの検討をおこない、加算取得につなげていきます。

開設年度は「開設したばかりでまだまだ整っていないこともあるので」、と大目に見ていただいたところもあると思います。しっかりとしたサービスを提供しできるように、「質の向上」に努めていきます。

まず、職員の安定した確保をめざします。未経験者に対する研修、勉強会の実施。経験者には認知症実践者研修・たん吸引研修・ユニットリーダー研修などの外部研修にも参加してもらい、それを施設内で伝達研修をすることによってサービスの向上に努めていきます。そのなかでも今年度は認知症に対する理解、対応方法の充実を重点項目に進めていきます。

次に、サービス担当者会議・委員会活動などの各種会議の実施とその内容の充実を進めていきます。日頃利用者に取り組んでいる内容を話すことによってより良いコミュニケーション・協力体制ができるのではないかと考えています。

そして、残業時間の減少にも取り組んでいきます。安定した職員の確保には残業の少ない職場を作っていく必要があります。人員の補充、業務のマニュアル化・整理整頓をすることで、残らなくても仕事ができる体制を作ってきます。

最後に、現在、利用者・ご家族の要望を把握するためにアンケートを実施します。その調査結果をもとに改善内容をまとめ、これまでできていなかった、気づいていなかったところを利用者ニーズに合った形で改善していきます。

利用して頂いている地域の方が、満足していただけるよう来年度も各職員が意識を高く持って取り組んでいきます。